

情勢報告

さあ収穫だ！おかあちゃんは大忙し ～吉良川らっきょう部会～



今年の成果を楽しみに聞き入るおかあさんたち

4月18日、室戸市吉良川町日南集会所でＪＡ土佐あき吉良川らっきょう部会の出荷打ち合わせ会が開催され、生産者が10人参加しました。生産者は10人中8人が女性で、圧倒的なはちきん部会です。農業改良普及課室戸支所とＪＡ営農担当からは次作に向けての病虫害防除と土壌及び病虫害診断のサンプリングの説明を、ＪＡ出荷場からは出荷に関する注意点の説明をしました。

生産者から「白色疫病には農薬がなんちゃあ効かん」という声があったので、室戸支所から『効かないのではなく、効かせられていない』可能性が高く、一定以上に病気が進むと防除が困難であることをわかりやすく解説し、初期防除の意識を高めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後もラッキョウだけでなく、オクラ、カンショ、ツクネイモといった露地品目の栽培を支援します。

加工用わさびで地域を活性化 ～中芸集出荷場研究会開発部会～



収穫調製の説明を熱心に聴く学生

4月23日、加工用ワサビの収穫時期が近づいたことから、4人の生産者に対して、出荷目慣らし会を開催しました。1人の新規生産者にはＪＡと協力して、目慣らしとともに収穫方法も指導しました。

また、当日は安田町の地域おこしを考える学生団体「安田（あんた）食を応援隊」の大学生8人が収穫体験に訪れ、農業改良普及課から収穫作業について説明した後、実際に作業に参加してもらいました。

学生は全員初めての体験でしたが、収穫作業を通じて生産者と交流し、「ますます安田町が好きになった」と語ってくれました。

今後も、農業改良普及課は栽培指導のみならず、地域おこしにつながる取り組みも支援していきます。

「平成 30 園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」を作っています！



意見を出し合い、栽培こよみを更新しています。

5月1日から、農業改良普及課とＪＡ土佐あき営農指導員による「平成30園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」（以下、「こよみ」）の作成検討会が始まりました。

項目ごとに担当者を割り当て、栽培方法や農薬の更新等のチェックを数回にわたって行い、栽培における問題点の解決策や最新情報を盛り込めるようにブラッシュアップをしています。

今後も、生産者の栽培管理の向上につながるよう、十分な校正を行い、7月中旬には各生産者に配布できるようにします。

今後の組織運営について協議！ ～集落保全営農組織平・花田役員会（奈半利町）～



今後の取り組みについて協議

5月11日、奈半利町平地区集会所で集落保全営農組織平・花田の役員会が開催され、組合員5人及び奈半利町役場、農業改良普及課が参加しました。

役員会では、平成29年度総会の協議事項、集落ビジョンをもとにした現在の組織の課題や今後の運営体制等を協議しました。

農業改良普及課は、集落ビジョンの見直しの提案と、今年度の集落営農塾の開催予定を情報提供しました。役場からは、集落営農支援事業を活用した機械導入の情報提供がありました。

組合員からは、「5年後を見据えて経営内容等の見直しが必要」「組織で共同の機械を整備したい」といった意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も既存組織の運営の維持・発展に向けて支援します。

最初から最後までハイクオリティぜよ！！ ～花き部芸西支部 ダリア部会現地巡回～



最後までえいもんを出さんといかんで!!

5月11日、JA土佐あき花き部芸西支部のダリア栽培農家3戸を対象にJAと現地検討会を開催しました。現地検討会には、生産者3人が参加し、作の終盤に向けて品質を維持するための管理方法を検討しました。農業改良普及課からは、春以降の労力削減につながる仕立て方法を指導しました。

生産者から「春以降は毎年、慢性的な労力不足になる…」、「確かに2回目収穫時に3回目分の仕立て本数を制限しておけば、労力削減になるね」といった声が聞かれ、活発な情報交換ができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して、ダリアの品質維持・向上と産地の振興に取り組みます。

ナス病害の撲滅を！ ～安芸ブロック・安芸集出荷場ナス部会合同勉強会～



病害対策を説明する研究員

5月17日、JA土佐あき本所で、園芸研究会安芸ブロックナス部会と安芸集出荷場ナス部会は合同で勉強会を開催し、生産者40人が参加しました。

農業改良普及課は、管内で問題となっている「ナスの主要病害対策」の講演の企画に参画しました。講師依頼した農業技術センターの研究員からは、地域で大きな問題となっている「ナスフザリウム立枯病」、「ナス黒枯病」などに対する土壌消毒剤の使用法や、有効薬剤と防除のポイントについて指導を受けました。

生産者からはフザリウムの発病時期、栽培終了後のくん煙剤処理、除湿暖房の効果など多くの質問が飛び交い、防除への意気込みを感じました。

農業改良普及課は、今後も栽培技術や病害虫対策等の情報提供を通して、部会活動を支援します。

安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会総会開催



今年度の活動について協議中

5月19日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会総会が安田町ふれあいセンターで開催され、12人が参加しました。

総会では、平成28年度活動報告と平成29年度活動計画を協議し、『つどい』は安芸の特徴的な活動であり継続すること、他地区の女性活動の取組事例を視察研修することが決まりました。農業改良普及課からは、『はちきん農業大学』の内容について情報提供等を行いました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの自主的な計画活動の実施に向けて支援します。

フザリウムの対策はしていますか？営農相談でアンケートを実施 ～芸東集出荷場～



ナスフザリウム立枯病は
どれくらい発生していますか？
対策はしていますか？

5月25日、農業改良普及課室戸支所とJA土佐あき営農指導課は芸東集出荷場でナス生産者を対象に「営農相談日」を開催しました。

農業改良普及課室戸支所は、出荷に来たナス生産者20人に、5～6月に発生しやすい褐色腐敗病、ボケ果対策（薬剤の種類やかん水方法）について情報提供するとともに、芸東地区で増えている「ナスフザリウム立枯病」の発生状況と防除対策の実施を把握するためのアンケート調査をしました。

アンケート調査しながら、次作に向けた対策も指導し、生産者の防除意識を高めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、アンケートの結果から「ナスフザリウム立枯病」の発生状況を取りまとめ、部会等で生産者と情報共有して、その対策を指導します。